

ポラス リースバック参入 自社物件の出口を拡充

ポラスグループの中央住宅は6月1日、自社グループ施工の戸建住宅を対象に、自宅を売却した後も引き続き住み続けられる買い取りサービス「ポラスの買取リースバック」の提供を開始、リースバック事業に参入した。

ポラスグループは、アフターメンテナンスや建物の保証延長、付加価値リフォームなどを評価した独自の査定方式を導入するなど、自社施工物件

の資産価値の最大化を図ってきた。今回、同サービスを新設することで、オーナーに次のライフステージの準備期間を提供するとともに、物件の売却出口を拡充し、「循環型ビジネスモデル」構築を更に進める方針だ。

住宅ローンの完済が困難になった場合や、現金化による相続対策、介護施設への住み替え、治療費や老後資金の捻出など、自宅売却が必要となった際に同社が自宅を買い取り、売り主と3年間の定期建物賃貸借契約を締結し、売り主は期間終了後に「退去（引越）」か「再購入」のいずれかを選択できる仕組みだ。